

65歳以上の皆さまへ

ワクチン接種について考えてみませんか？

高齢者の方々は様々な感染症に対する免疫力が低下する傾向があります。ワクチン接種は、ご自身の健康を守るための重要な手段です。また、予防することで重症化を防ぎ、生活の質を向上させることができます。



ワクチンの3つのメリット

感染・発症を
予防する



重症化を
予防する



周りの人への感染を
防止する



代表的な5つの感染症

1. インフルエンザ

高齢者はインフルエンザにかかると、一般的に重症化しやすく、合併症のリスクも高まるため、注意が必要です。特に、心臓病、糖尿病、慢性閉塞性肺疾患などの基礎疾患を持つ方は、インフルエンザが重症化すると命にかかわる可能性があります。

2. 肺炎球菌

高齢者の肺炎球菌感染症リスクは、加齢による免疫機能の低下や、慢性疾患などを抱えることで高まります。

特に65歳以上の高齢者や、心臓病、糖尿病などの持病を持つ方は、肺炎球菌感染症のリスクが高く、重症化しやすい傾向にあります。



3. 新型コロナウイルス

重症度は、季節性インフルエンザと比べて死亡リスクが高いことが報告されています。

特に、高齢者や基礎疾患のある方では重症化するリスクが高いことも報告されています。

4. 带状疱疹

高齢者は加齢に伴う免疫力低下により带状疱疹のリスクが高くなります。

50歳以降、特に70歳代が発症のピークで、80歳までに約3人に1人が带状疱疹を発症と言われています。高齢者では、带状疱疹後神経痛（PHN）のリスクも高まり、発症すると重症化しやすいという点も注意が必要です。

5. RSウイルス

高齢者がRSウイルスに感染した場合、特に持病がある場合は肺炎や細気管支炎などの重症化のリスクがあります。また、感染によって基礎疾患が悪化したり、合併症を引き起こすこともあります。高齢者では、RSウイルス感染による死亡率も高くなる傾向があり、注意が必要です。

◆ この5つの感染症では、**ワクチンが開発されています。**

◆ 詳しくは、**かかりつけ医にご相談ください。**



気になる話題

ヒトメタニューモウイルス感染症とは？

● どんな病気なの？

ヒトメタニューモウイルスは、乳幼児の呼吸器感染症として知られているRSウイルスと同じニューモウイルス科に属する、2001年に発見されたウイルスです。RSウイルスとは性状および症状が類似しています。世界中に存在し、ほとんどの人が5歳までに初めての感染を経験しています。また、生涯を通じて何回も感染します。



● どこから感染するの？

感染経路は、患者のつばや咳のしぶきによる飛沫感染と、手や指を介した接触感染です。4～5日の潜伏期間の後に咳、発熱、喘鳴、さらに重症化した場合には、気管支炎、肺炎を発症します。

● どんなひとが感染するの？

ヒトメタニューモウイルスやRSウイルス感染症は、乳幼児のほか、高齢者での発生もあり、持病がある方など重症化のリスクもあります。

● くすりやワクチンはあるの？

このウイルスには特異的な治療薬がまだなく、予防手段としてのワクチン開発が予防接種推進専門協議会により期待されています。



医療法人桜十字 桜十字病院

熊本市南区御幸木部1丁目1番1号 096-378-1111（担当：加藤）